

◆ 国道1号の所要時間が約7分短縮！

- 通勤時に国道1号を利用する方の時間短縮



※蒲原地域企業への聞き取り調査より

＜通勤時に国道1号を利用する人の声＞

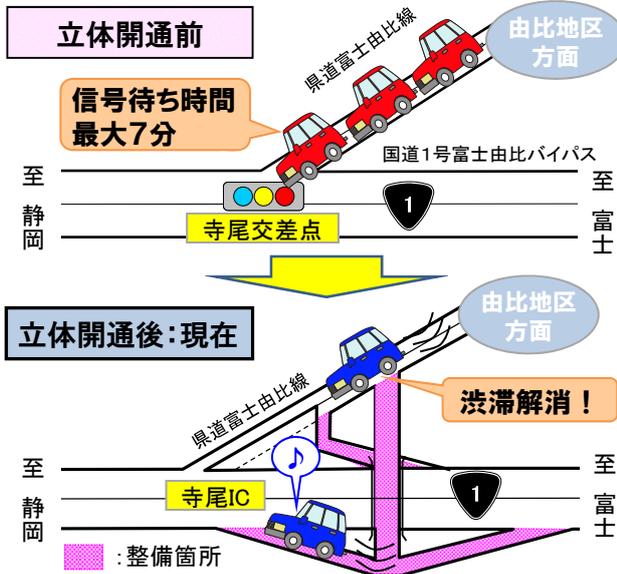
以前は、清水(名古屋方面)から朝の7:30頃に国道1号を利用すると、興津川橋まで渋滞していたが、寺尾交差点が立体化され、通勤時間が約10分短縮されました。

＜製品輸送時に国道1号を利用する人の声＞

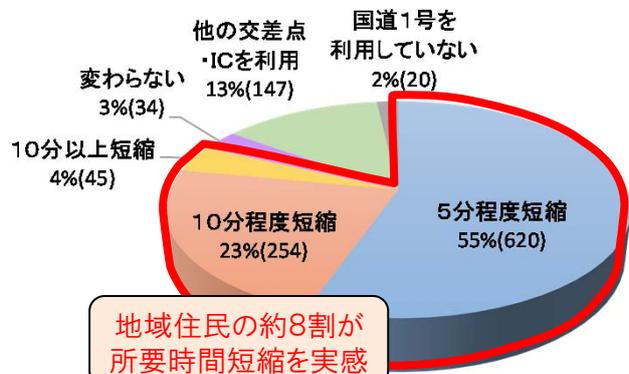
製品運搬のためトラックで寺尾交差点を通過するが、信号がなくなったためスムーズに走行できるようになりました。

◆ 由比地区住民の約8割の方が 所要時間短縮を実感！

- 由比地区から国道1号へアクセスする際の信号待ち時間が解消され、由比地区住民の約8割の方が所要時間の短縮を実感しています。



Q.立体化後の寺尾IC通過にかかる所要時間の変化について教えてください。

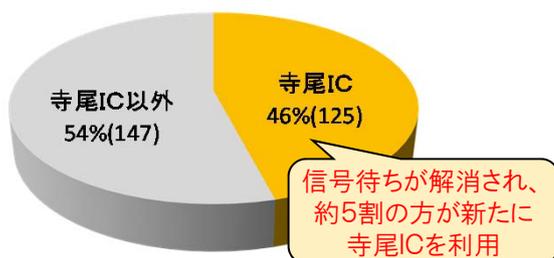


※由比地区住民へのアンケート調査(1,120件)
※()内の数値は回答数

◆ 寺尾ICの利便性向上により、 寺尾IC経由のルートを選好！

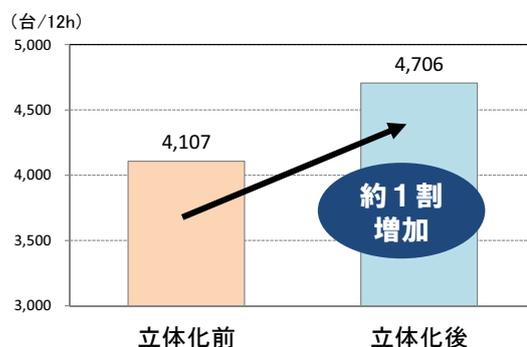
- 寺尾ICの利便性が向上したため、由比地区から国道1号へアクセスする際に、**寺尾交差点**を利用していなかった方の約5割の方が新たに**寺尾IC**を利用しています。
- 寺尾ICを利用する交通も増加傾向です。

Q.国道1号へでる際に利用しているインターチェンジや交差点について教えてください。



※由比地区住民へのアンケート調査より、寺尾交差点を利用していなかった方を対象に集計(272件)
※ ()内の数値は回答数

● 寺尾ICを経由して国道1号へ向かう交通量

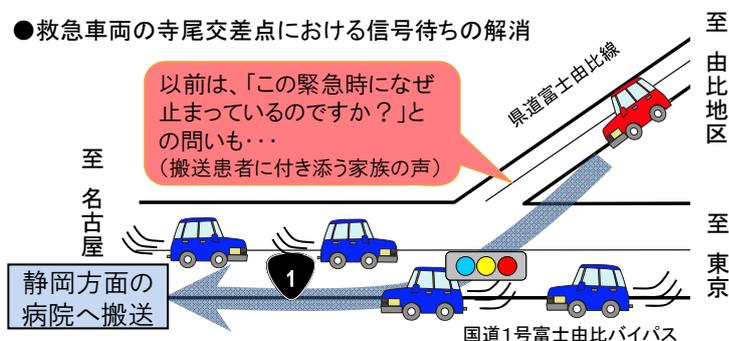


※立体化前:H25.11.26(火)、立体化後:H26.4.17(木)

◆ 救急車両の信号待ちが立体化により解消し 搬送患者の負担・不安を軽減！

- 立体化前の赤信号時における県道から国道1号への合流は、国道1号の交通量が多く進入するには危険であったため、**救急車両でも一般車と同様に信号待ちをしていました。**
- 寺尾交差点立体化により信号待ちをせずスムーズに合流できるようになったため、**搬送患者への負担が大きく軽減されました。**

●救急車両の寺尾交差点における信号待ちの解消



立体化により信号待ちが解消

＜静岡市消防局の声＞

緊急車両の信号待ちは、患者や付き添いの方の不安を煽ることになり、救急隊員の精神的な負担も大きいです。

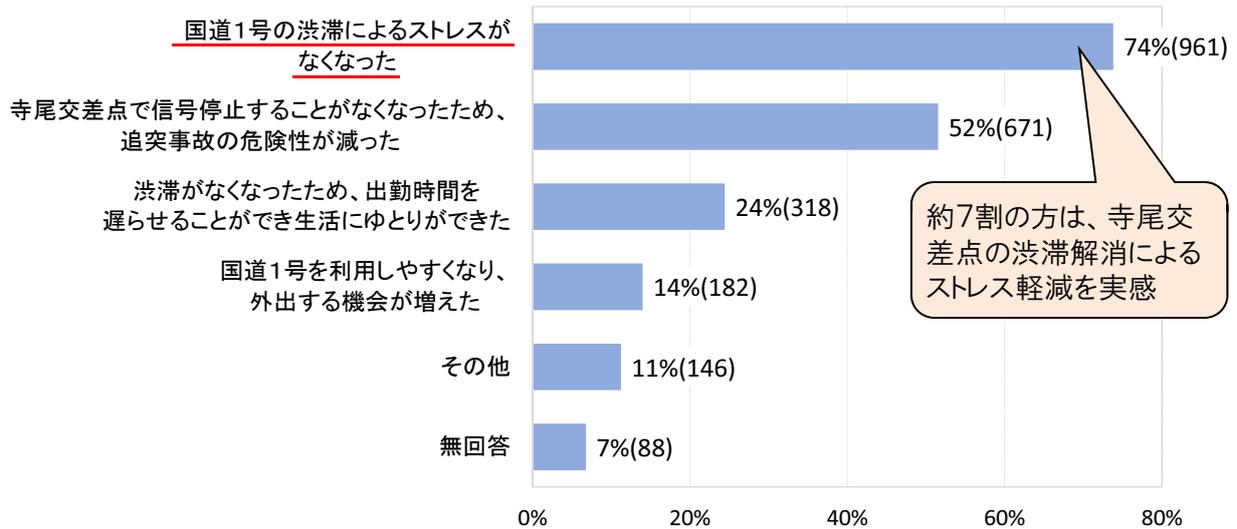
寺尾交差点の信号がなくなり、国道1号へスムーズに合流できるようになったため、患者への負担や付き添いの方・救急隊員の負担が大きく改善されました。



※静岡市消防局湾岸消防署庵原分署へのヒアリング調査結果より

◆ 由比地区住民の方から 寺尾立体化の効果を実感する声！

Q.立体化され、国道1号を利用する際にどのような変化を感じますか。※複数回答可



[由比地域の方の声]

※由比地区住民へのアンケート調査より集計(1,302件)
※()内の数値は回答数



< 由比漁港の方の声 >

新たに富士方面から由比地区へアクセスできるようになり、**由比漁港**からもトラックやバスでアクセスできるようになり便利になりました。



< 由比地区住民の方の声 >

静岡方面に行くとき、**寺尾交差点で信号待ちが2~3回**ありましたが、その時間がなくなり便利になりました。



< 由比地区住民の方の声 >

渋滞がなくなったため、**目的地に行く時間が読める**ようになりました。

< 由比地区住民の方の声 >

渋滞が発生すると家の前を迂回する車が多かったが、**立体化後**は由比地区を迂回する車両がほとんどいなくなりました。



< 由比地区住民の方の声 >

富士方面から帰宅する際、蒲原西ICを使用するしかなかったが、**寺尾ICも利用**できるようになり選択肢が広がりました。

寺尾交差点を立体化し、寺尾ICとして開通しました

国道1号富士由比バイパスの寺尾交差点は、朝夕のピーク時を中心に慢性的な渋滞が発生しており、また追突事故も多発していました。これらの課題を解消するために、交通渋滞の緩和・交通安全の確保を目的とした寺尾交差点立体化事業を実施し、平成26年3月18日に寺尾ICとして開通しました。

